

請願第6号

市民のための議会への改革を求める請願

紹介議員

飛鳥井 佳 子
太 田 秀 明

市民のための議会への改革を求める請願

(問題の趣旨)

今後向日市のまちをより良くしていくために、多くの向日市民が自分たちのまちについて関心を持ち、主体的に関わっていくことが大切です。市民の代表である議会の役割は重要であり、もっと市民が議会に行って議会でどんな議論がされているかを知ることが必要です。

しかし現在の向日市議会は、市民にとって大変疎遠に感じられます。

- ① 議会に行って傍聴しても、見えるのは市長や部長の姿ばかり。私たち市民の代表である議員の姿がまったく見えません。これは、どうしたことでしょう。
- ② 議会に傍聴に行っても、資料が何も配布されません。傍聴している市の職員は、資料を持って聞いているのに、市民には何もありません。聞いていても分からないので、「こんなんでは、もう傍聴に行かない」という人もいます。

そこで、市民のための議会へ改革していただくことを求め、以下のことを要請します。

(請願事項)

1. 議員の姿が傍聴する市民から見えるように直してほしいので検討してください。(例えば議場にモニター画面など)
2. 他の市町村の議会では、傍聴者用に一般質問の資料を準備して配布または貸与しているところが増えていきます。向日市議会においても、傍聴する市民に議案や資料を配布してください。
3. 議員が質問し市長や部長が回答するやり方は形式的です。国会の予算委員会のように活発な議論にしてください。

平成25年11月29日